



高齢者の死亡事故が多発中!



今年9月末までに県内で発生した交通事故で、98人(前年同期比+14人)の方が亡くなっています。このうち65歳以上の方(以下「高齢者」)は50人(前年同期比+7人)と約半数を占めています。

高齢者が関係する死亡事故の特徴(千葉県内・令和6年1月～9月末まで)

運転操作の誤りとみられる 「単独事故」「正面衝突」

- ・電柱等への衝突、カーブでの車線はみ出しによる転落や正面衝突などが発生



交差点での 「出会い頭事故」

- ・全ての年齢層で発生
- ・高齢者は大けがを負う危険性が他の年齢層より高い



「歩行者横断中」 の事故

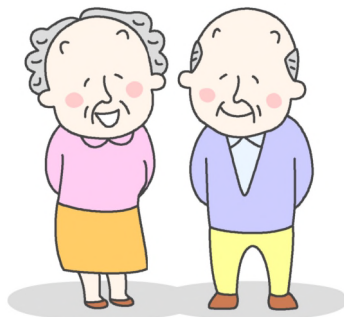
- ・ドライバーの不注意のほか、危険な横断(飛び出しなど)が原因の事故も発生



加齢による体・心の変化に注意!(個人差があります)

運転に関わること

- ・標識などを見落としやすくなる
- ・危険への反応が遅れがちになる
- ・不慣れな場所や、道路環境の変化に慌て、ブレーキやハンドルの操作ミスを起こしやすくなる



歩行に関わること

- ・道路の横断に時間がかかる
- ・視力や判断力の低下により、走ってくる車の速度や距離感を誤る
- ・聴力の低下により、車が接近していることに気づきにくくなる

交通事故を防ぐために

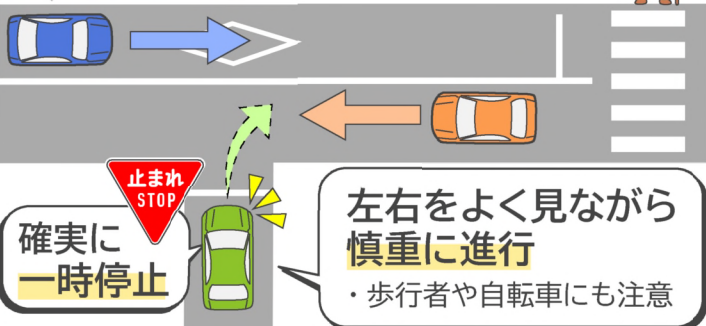
横断歩道に人がいたら必ず停止!

- ・右折、左折した先の横断者にも注意

横断は一旦止まって 左右の安全を確認

- ・横断歩道を利用する
- ・車が見えたら通過を待つ

反射材



確実に
一時停止

左右をよく見ながら 慎重に進行

- ・歩行者や自転車にも注意

シニアドライバーの方へ

- ・雨や夜間など視界の悪いときや、体調の悪いときは運転を避けましょう(はればれ運転)
- ・運転に不安を感じたら、運転免許の自主返納も検討しましょう

千葉県警察ホームページ▶



はればれ運転



自主返納

全てのドライバーの方へ

- ・高齢の歩行者や「高齢者マーク」を表示した車を見かけたら、安全な距離や速度を保ち思いやりを持って運転しましょう

高齢者マーク(高齢運転者標識)▶

